

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会

令和6年度事業に関する評価報告書

令和8年1月

目 次	頁
1. 趣旨	1
2. 調査・評価の対象と方法	2
3. 総括	2
4. 基本計画と対象事業の関係	3
5. 評価シート	4
参考資料	18
1. 逗子文化プラザホール 令和6年度自主文化事業一覧	
2. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会規則	
3. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 委員名簿	
4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程	

1. 趣旨

逗子市文化振興条例（平成 21 年逗子市条例第 15 号、以下「条例」という。）では、「文化創造の主役は市民であり、市民は文化を創造し、享受する権利を持つことを市は認識しなければならない。そのために、市は市民の文化活動を広く支援し、必要な環境を整備する使命を負っている。」と述べ、市の責務として「市は、文化活動を行う市民、団体及び事業者と協働し、地域における人材、資源、情報等を活かして、文化の振興を図るものとする。」（条例第 4 条第 3 項）と定めている。

この条例は、制定の際に様々な検討が重ねられた結果、文化を独立した行政分野として位置付け、その振興に取り組むべきであることを指摘し、文化における市民の権利を明文化するとともに、市の文化振興施策の基本方針を定め、市の責務をより明確に示したものである。

条例第 5 条の規定に基づき、「文化振興施策を総合的かつ計画的に推進するため」、『逗子市文化振興基本計画（平成 23 年 3 月策定、令和 6 年 3 月改定）』（以下「基本計画」という。）を策定し、「地域の文化を市民の手で拓く」を基本方針として、6 つの「施策の柱」のもと、18 の「基本施策」を体系化している。

また、「市は、基本計画の推進に当たって、基本計画に基づく施策、事業等が的確に実施されているかどうか等について、調査、評価等を行う組織を設置するものとする。」（条例第 7 条）とし、平成 24 年度に文化振興基本計画調査・評価委員会（以下「委員会」という。）が発足した。この組織は、「基本計画の内容及び基本計画に基づく施策、事業等の評価、見直し等について調査、検討を行い、その結果に基づき市に提言するもの」（条例第 7 条第 2 項）とされている。

令和 6 年度の評価に当たっては、基本計画の 6 つの「施策の柱」とそれぞれの施策の柱の下に位置付けられた「基本方針」が、令和 6 年度中に実施された事業によってどの程度実現できたか、という視点から評価するとともに、上記の事業のうち、基本計画の上位計画である逗子市総合計画実施計画の対象事業として位置付けられているものについては、計画上での目標を示し、その達成状況を評価の中で考慮している。また、従前は基幹計画「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」と本基本計画を連動させ進行管理を行っていたが、令和 5 年 3 月の逗子市総合計画中期実施計画策定に伴い、今後は分野ごとに個別に判断することとなった。

今後、この評価報告書を踏まえ、基本計画に基づく施策や、事業がより的確に実施され、市の文化振興施策が市民に資するものとなることを願っている。

2. 調査・評価の対象と方法

令和6年度は、令和5年度の調査・評価の方法（平成29年度に評価方法変更、平成30年度に評価事項追加、令和6年度より計画改定による評価事項一部変更）を継続することとした。

評価に当たっては、6つの「施策の柱」毎の評価シートを設け、「基本施策」が掲げる目標に対し、対象事業の取組みの結果と、文化振興所管課（文化スポーツ課）の自己評価を求め、それに対する本委員会としての評価を行った。評価は、実現度合いを以下の3段階で評価したうえで、意見を述べることとした。

- a. 順調である。
- b. 概ね順調である。
- c. 順調であるとみなせない。

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）が令和5年5月8日に「5類」に移行したことから各事業への影響は無く、コロナ前と同等の事業内容へ回復しているため、コロナの影響について記載する欄は削除することとした。

3. 総括

平成 30 年度から、6 つの施策の柱の推進状況を軸に評価を行ってきたが、今回で 7 年目。また令和 6 年からは、新たに改定された計画に移ったことから、令和 12 年度までの 7 年間の施策の柱の目標達成も視野に置き、長期的な観点も交え述べることにする。

施策の柱（1）「地域文化の担い手の育成」 次世代を担う子どもたちの創造力向上のための従来のアウトリーチ（アート便）に加え、地元高校との連携などホールの自主事業や、逗子アートフェスティバルを通しての若年層を中心とする地域文化の担い手の育成はほぼ達成できているが、より幅広い世代の参加と多世代交流が課題である。特に文化プラザでの取り組みが注目される。

施策の柱（2）「市民文化活動の活性化」 高校生の舞台スタッフ体験や逗子アートネットワークなど若年層を中心とする文化活動は成長してきているが、幅広い年齢層への波及にはやや欠ける。一方、文化祭など幅広い市民の活動も盛んであるが、今後世代交代など後継者育成も課題となろう。

施策の柱（3）「文化芸術に接する機会の拡充」 鑑賞機会・体験機会とも、令和 6 年度は市制 70 周年記念事業もあって、共催も含めホールの自主事業は充実しているが、この勢いをいかに今後も維持していくか、またこれまで文化に触れる機会が少なかった人へのアプローチも含め、今後更に強化する必要がある。

施策の柱（4）「文化資源の活用による地域づくり」 逗子の様々な文化資源の活用は、蘆花記念公園全体の再整備のためのグランドデザインが策定されたこともあり進みつつある。その他空きスペースや私有地、民間施設等を活用していくための仕組みを考えていく必要がある。人的資源の発掘・連携も、市制 70 周年記念事業を通して多彩な連携が行われた。今後に向け、これらの成果をいかに活かしていくかが課題である。

施策の柱（5）「文化情報の収集・発信・活用」 オンラインの活用も含め、多様な情報メディアを通して情報発信がなされている。一方、逗子フォト事業は「逗子の『まちの記憶』アーカイブ」として公開されたが、これを前計画にあった「逗子アーカイブ」構想を受けたものとしてより具体的に展開していくか課題である。

施策の柱（6）「文化振興のための環境づくり」 交流センターを含めた維持管理の「一体管理 MTG」をたちあげ、築 19 年になる文化プラザの長寿命化や安全・安心対策に努めている。また、行政の文化振興体制の強化・関係機関連携体制については、市民との協働も含め、今後に向け推進していく必要がある。

4. 基本計画と対象事業との関係



5. 評価シート (前は前年度(令和5年度)実績)

施策の柱	(1) 地域文化の担い手の育成
地域の文化は市民が継承し、創造し、発展させるものと捉え、担い手を育成するために、文化への理解・関心の向上と活動への参画を促し、地域文化振興に必要な専門知識を持った市民を増やす。特に、吸収力旺盛な青少年期における文化との接触による次世代の担い手育成を図る。	

個別計画での基本施策と令和6年度の事業概要	
① 子どもたちの文化創造体験の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育と連携しながら、子どもたちに対する芸術に触れる機会や文化・芸術教育を充実させます。 ○ 地域において多世代との交流を通じた、地域の文化体験など、地域生活における文化接触を豊かにしていきます。 ○ ホール自主文化事業において創造体験ができる機会を充実させます。
【ホール自主文化事業】	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● アート便 2024 (学校教育と連携し子どもたちが芸術に触れる機会を届けるアートリーチ事業) 4メニュー（和太鼓、太神楽、落語、クラシック）提供。メニューをひとつ追加し、幅広い選択肢を提供できた。市内小・中学校8校及び市内幼稚園1園、高齢者施設1施設、体験学習施設スマイルに対し授業数13件を実施。園児・児童・生徒など延べ1,472人参加。新型コロナウイルスで訪問できていなかった高齢者施設に昨年に引き続きアートリーチを届くことができた。 前3メニュー（和太鼓、世界の音楽、落語）提供。市立小・中学校8校及び市立保育園1園、高齢者施設1施設、体験学習スマイルに対し授業数13件を実施。園児・児童・生徒など延べ1,630人参加。 ● 絵本作家山本祐司さんと一緒に絵本をつくろう 2024 こどものための手作り絵本講座 7月20日（土）、22日（月）、24日（水）、8月7日（土）2クラスで開催。 70人参加。 前7月22日（土）、24日（月）、26日（水）、8月9日（水）2クラスで開催。70人参加（うちオンライン10人参加）。 ● 逗子こども落語教室 2024 コロナ禍で実施が見送られていた「逗子こども落語教室 2024」を4年ぶりに復活した。8月22日（木）さざなみホールで開催し、17名が参加。 前実施なし ● 逗子開成高等学校和太鼓部と共に演による和太鼓グループ彩-sai-逗子公演 Vol. 6 1月18日（土）なぎさホールで開催。401人来場。逗子開成高等学校和太鼓部と共に演した。共演に向けて和太鼓グループ彩-sai-による事前指導を6回実施し、プロの技術や演奏を直接学べる場を設けた。 前463人来場。事前指導7回実施。 ● 講座 ホール舞台スタッフを体験しよう！ 11月15日（金）、22日（金）に県立逗子葉山高等学校1年生の総合的な探求時間における『ワークショップ』の一つとして開催し、24人参加。ホール事業課担当者と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールについてと舞台スタッフの仕事内容の講義を行った。2日目はホール舞台裏で音響卓や照明卓、ピンスポットの操作を体験してもらい、その後1チーム約5分のパフォーマンス発表をした。 前6月16日（金）、23日（金）に県立逗子葉山高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、19人参加。 ● トモイクフェスティバル 2025 共に学び共に育つ「共育(ともいく)のまち」の実現に向けて、市民交流センターとの共催で3月22日（土）・23日（日）開催。23日になぎさホールにて「逗子ライブ・インクルーシブ 2025」、さざなみホールにて「ココロラップコンテスト」を開催するなど、ホール全体で2日間に合計8企画を実施した。 前3月23日（土）、24日（日）の2日間で合計8企画を実施した <p>【逗子市文化協会によるスマイル講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学生から高校生を対象とした逗子市文化協会による講座（子育て支援課） 和楽器6回、ダンス13回、バレエ3回、茶道4回、アート9回を開催。 前和楽器6回、ダンス10回、バレエ3回、茶道5回、アート5回を開催。

② 市民のアートリテラシーの向上	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 逗子の伝統文化、歴史的資産はもとより、様々な文化に関する教養講座などを実施し、市民の文化に対する興味や知識を向上させます。 ○ 学ぶことと創造すること、市民協働を進めながら、生涯学習と文化振興を連携させ、幅広い視野や包容力ある人材を育みます。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバル (ZAF) 2024 の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10月5日（土）～10月27日（日）で開催。全25企画（うち自由企画8企画、連携企画2企画）。企画者及び来場者数約7,093人（連携企画除く）。 <p style="margin-left: 2em;">前10月7日（土）～10月29日（日）で開催。全41企画（うち自由企画10企画、連携企画3企画）。企画者及び来場者数約15,374人（連携企画除く）。</p> ● ZAF2024は市制70周年記念事業のひとつとして市の負担金を活用し開催した。 ● 企画運営は「逗子アートネットワーク (ZAN)」のメンバーが中心となって行った。 ● 前回に引き続き旧逗子高等学校を借用して展示を行ったことで、逗子葉山高等学校との連携を図ることができ、写真部が写真展企画を実施した。他にも横浜市立大学三浦半島研究会・逗子開成高等学校・聖和学院中学校・高等学校が企画や作品制作等で加わる等、学生との連携を図ることができた。 <p>【市民による文化事業への後援、協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共催1件、協力2件、後援40件 合計43件 <p style="margin-left: 2em;">前共催1件、協力2件、後援33件 合計36件</p> <p>【文化に関する講座の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習講座事業11講座開催。参加者延べ213人。（市民交流センター主催事業（所管：市民協働課）） <p style="margin-left: 2em;">前生涯学習講座事業9講座開催。参加者延べ250人。（市民交流センター主催事業（所管：市民協働課））</p> ● 文化芸術関連の社会教育講座を9回開催。参加者延べ229人。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 徳川宗敬・幹子夫妻が住んだ桜山と大正期の逗子 (2) 徳富蘆花・「自然と人生」と「不如帰」（市制70周年記念講座） (3) 古代中世の逗子・歴史の辻子（市制70周年記念講座） (4) 釈迦の入滅を描く延命寺涅槃図をめぐって（市制70周年記念講座） (5) 古記録に見る逗子の近世（市制70周年記念講座） (6) 放置竹林のリスクをまちの魅力に変えよう (7) サードエイジ連続講座 <ul style="list-style-type: none"> ① 京急逗子線を深堀りしま専科 ② 介護の実態をより深めま専科 ③ 逗子のお寺をもっと紐解きま専科 <p style="margin-left: 2em;">前文化芸術関連の社会教育講座を7回開催。参加者延べ204人。</p> ● 社会教育出張講座 <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術関連の趣味教養講座を3回開催 参加者延べ52人。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 現代詩入門 (2) 大人の簡単！えんぴつ画教室 (3) ウクレレ教室 初級編 <p style="margin-left: 2em;">前4回開催 参加者延べ54人。</p> ● 近代美術館入門講座 <ul style="list-style-type: none"> 県立近代美術館葉山と連携し、同館で開催される展覧会に関する講座を4回開催。参加者延べ75人。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 吉田克郎 ものに、風景に、世界に触れる (2) 石田尚志 絵と窓の間 (3) ゴヤ版画 (4) 木下翔造コレクションについて <p style="margin-left: 2em;">前4回開催 参加者延べ90人。</p>

	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高橋睦郎氏文化勲章受章記念講演会 逗子市在住の詩人・高橋睦郎氏の文化勲章受章記念講演会及び逗子市市民栄誉賞贈呈式を開催した。文化勲章受章記念講演会は、有志の市民により組織された実行委員会と市との共催により逗子文化プラザホテルの協力のもと実施し、当日は満席となった。
(③) 地域文化振興の担い手育成	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域において、文化事業の企画や制作、運営を担ったり、専門知識や技能を発揮したり、ボランティアやサポーターで参画したり、地域文化を推進していく人材の育成に取り組みます。 ○ 青少年や若年層の活力を積極的に取り入れます。 ○ 市民、来訪者に関わらず、市内で文化活動を行う人々の参画と参加により、交流のなかで、文化活動を活性化します。 <p>実施内容</p> <p>【逗子アートフェスティバル 2024 自由企画、ボランティア活動、逗子アートネットワークメンバーの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自由企画の公募を行い、8企画が参加。 ● 前回に引き続き旧逗子高等学校を借用して展示を行ったことで、逗子葉山高等学校との連携を図ることができ、写真部が写真展企画を実施した。他にも横浜市立大学三浦半島研究会・逗子開成高等学校・聖和学院高等学校が企画や作品制作等で加わる等、学生との連携を図ることができた。 <p>前自由企画 10企画参加。</p> <p>【逗子市文化祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本舞踊、バレエ、演劇、民謡など芸能、展示等の14企画が参加。前12企画。 ● 来場者数約3,800名。前約3,200名。 ● 逗子市文化協会 加盟団体15団体 会員数704名 前15団体 702名

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】</p> <p>アート便では、市立小・中学校及び市立保育園に例年同様継続実施できていることに加え、メニューを3つから4つへ増やし、選択肢を広げることができた。</p> <p>ZAF2024の企画数は、総合計画における重要業績評価指標（KPI）の令和6年度の想定目標23企画に対し、実績は25企画と上回っている。参加者についても高校生などの若い世代の参加も定着しつつあり、事業の充実が図られている。</p> <p>逗子市文化祭は市民に定着しているイベントであり、参加企画数は前年比で増加した。</p> <p>【見直すべき点】</p> <p>アート便については、企画の継続性を重視するとともに、幅広いジャンルの企画の拡充が求められる。</p> <p>逗子市文化協会は、高齢化による会員数の減少が課題で、参加団体を若い世代に拡げる等の活性化を図ることが求められる。</p>
-------------	---

総合計画における位置づけと目標	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 具体的施策に「文化芸術活動の推進（継承と創出）」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。」としている。また、次の3つを主な取り組みとして位置付けている。 <ul style="list-style-type: none"> 主な取り組み① 逗子アートフェスティバルの充実 主な取り組み② 文化芸術活動の振興に係る事業の推進 主な取り組み③ 子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等） ● 具体的施策に「学習機会の提供による社会教育の推進」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「講座事業において、各分野（現代的課題、地域課題、家庭教育）3講座以上実施され、受講生の満足度が5段階評価のうち4以上が90%を超えている。」
-----------------	---

	<p>としている。また、次の4つを主な取り組みとして位置付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な取り組み① 各種講座事業の推進 主な取り組み② 家庭教育推進事業の充実 主な取り組み③ 読書活動の推進 主な取り組み④ 子どもの読書活動の推進
委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>地域文化の担い手の育成にあたり、市民と行政とが一体となって生涯学習と文化振興とを連結させて、様々な取り組みが継続して展開されたことが評価できる。</p> <p>学校教育と連携した「アート便 2024」は感性教育の推進を図る取り組みとして意義がある。前年度に引き続き「逗子アートフェスティバル 2024」において行われた県立逗子葉山高等学校や横浜市立大学など、近隣の高校生・大学生との連携も進んで若い世代の参加も定着してきている。世代を超えた交流を促し、地域の活性化の観点からも、今後に期待したい。</p> <p>市民による文化事業への後援・協力も増え、地域文化の担い手は増えているように思えるが、かつてあった「ずし楽習塾」のような市民主体の文化に関する講座が再開できないのは残念である。</p>

施策の柱	(2) 市民文化活動の活性化
市民の文化活動は、心の豊かさや充足感を得るだけなく、活力に満ちた社会や個性豊かな地域の形成など、様々な形で地域などにも還元されるものと捉え、市民個人や団体それぞれの活動を高め、拡げるとともに、文化を通じた公益的な市民活動の支援を図る。	

個別計画での基本施策と令和6年度の事業概要	
① 市民文化活動への支援の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民に文化活動のための場と機会（時間）を提供し、市民と行政の役割を明確にした上で、市民文化活動の活性化のための協働を進めます。 ○ 文化活動をしていく上での相談や助言を行う仕組みや、支援や協働による活動の実現や拡大につながる仕組みを整えていきます。 ○ 文化事業の企画運営について、市民が専門的知識や技術の習得が可能となるよう支援します。 ○ 活動の目標や励みになる事業及び専門性をより高めていくための機会を設けるなど、支援を行います。
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (再掲) 講座 ホール舞台スタッフを体験しよう！ 11月15日（金）、22日（金）に県立逗子葉山高等学校1年生の総合的な探求時間における『ワークショップ』の一つとして開催し、24人参加。ホール事業課担当者と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールについてと舞台スタッフの仕事内容の講義を行った。2日目はホール舞台裏で音響卓や照明卓、ピンスポットの操作を体験してもらい、その後1チーム約5分のパフォーマンス発表する場をもうけ実践に近い体験をしてもらった。 前6月16日（金）、23日（金）に、県立逗子葉山高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、19人参加。 ● 【共催】逗子トモイクフェスティバル 2025 3月22日（土）、23日（日）開催のトモイクフェスティバルにおいて、ホールにて8企画を実施。「共に育つ」のコンセプトに合わせ、採用企画が決まった段階から市民団体と市民交流センターと協力し、運営と舞台技術の両面から企画者のバックアップを行った。さざなみホールで開催した「ココロラップコンテスト」では、大人から子どもまで幅広い参加者が登壇。多くメディアからの取材を受ける社会的に注目度の高い企画となった。メディアアバズ、地域メディア広報、社会的包摂を推進する近隣文化施設への広報など、積極的に広報支援を行った。
② 市民による市民のための文化振興の仕組みづくり	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存団体と新しい団体の連携を支援します。 ○ 市民自らが企画・参加し、地域文化を振興し、地域を活性化していく仕組みづくりを進めます。 ○ 世代間交流が生まれるような文化事業や、仕組みづくりを検討します。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバル2024開催を目的とした逗子アートネットワークの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2024の企画運営を行った逗子アートネットワークは、コアメンバーを中心 최근 참여한 멤버들과 함께 미팅을 주로 활동 범위를 넓혔다. Facebook 멤버페이지 113명 참가. 前Facebook 멤버페이지 92명 참가. ● 온라인 미팅을 활용해,逗子아트네트워크 전체에서 미팅이나, ZAN 공동 대표와의 미팅, 각 기획자나 홍보 담당자와의 미팅 등을 진행했다. ● 逗子아트네트워크의 홍보 팀은 SNS 및 웹 홍보 활동을 적극적으로 벌여, 마을과 사람의 매력을国内外로 확장하기 위해,逗子아트フェ스티벌을 찾는 방문객을 늘리기 위한 목표를 설정했다.
③ 市民参画・協働型事業の充実	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の企画案、運営スタッフの市民公募などにより、市民参画・参加を促進します。 ○ 市民の企画力、運営力をより一層高めていく支援を行います。 ○ 市民主導型のホール自主文化事業を積極的に実施し、事業の充実を図ります。
実施内	<p>【逗子アートフェスティバルの継続、逗子アートネットワークのメンバーの新規募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2024を開催 ((1)②参照)。平成25年度(2013年)のプレアートフェスティバルから12回目の開催となった。

容	<ul style="list-style-type: none"> ((2) ②再掲) 逗子アートフェスティバル2024の企画運営を行った逗子アートネットワークは、コメンバーを中心に近年参加のメンバーとともにミーティングを頻繁に行い活動の幅を広げた。Facebook メンバーページ113人参加。 前Facebook メンバーページ92人参加。 【トモイクフェスティバル】 市民交流センター主催で、3月22日（土）、23日（日）開催。延べ4,006人来場。 前市民交流センター主催で、3月23日（土）、24日（日）開催。延べ3,500人来場。
---	--

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】 「ホール舞台スタッフを体験しよう！」講座を受講した生徒にプロの舞台スタッフの指導の下、実際にホール舞台裏で音響卓や照明卓、ピンスポットの操作を体験してもらうことで文化創造体験を提供できた。 また、トモイクフェスティバル、逗子アートフェスティバルに積極的に運営と舞台技術面から市民活動支援をすることで、市民の文化活動の場を提供し、ホールとしても事業内容に広がりを持たせることができた。</p> <p>【見直すべき点】 ホール自主文化事業は、企画の継続性を重視するとともに幅広いジャンルの企画や異なる協働型事業の拡充が求められる。</p>
-------------	---

委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>市民が文化活動への理解を深めるための講座やワークショップ、また市民参画・協働のための仕組みづくりが、連続的、発展的に行われている。 県立逗子葉山高校の総合的学習と連携してのホール舞台スタッフ体験ワークショップも参加者が増え、実際にホール舞台裏で舞台技術を体験したほか、トモイクフェスティバルや逗子アートフェスティバルの運営にも舞台技術面により参加でき、市民文化活動への支援につながった。 また逗子アートフェスティバルを企画運営する逗子アートネットワークの活動も定着し、SNS やオンライン会議システムを活用してメンバーの拡充や活動の幅を広げ、市内外から逗子の文化活動を支援するネットワークを形成していることは評価される。</p>
--------	--

施策の柱	(3) 文化芸術に接する機会の拡充
条例で定める、文化芸術を創造し、享受することは市民の権利であることを実現するため、すべての市民が文化芸術に触れることのできる機会を提供するように努める。特に、文化事業を企画したり、運営に参画したり、支援する機会や、文化芸術に触れることが困難な市民が気軽に接する機会の拡充を図る。	

個別計画での基本施策と令和6年度の事業概要	
① 鑑賞機会の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズにあった多彩な鑑賞型事業を実施します。 ○ 市民の企画による事業を募集、協働にて実施します。
実施内容	<p>【ホールによる鑑賞機会の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鑑賞型事業を7件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係4件、古典芸能3件。平均満足度は92.7%。 <ul style="list-style-type: none"> ・6月5日（水）第4回駅前寄席 in 逗子文化プラザホール（共催 NPO法人逗子葉山鎌倉駅前寄席） ・7月6日（土）逗子落語会 三遊亭わん丈 真打昇進披露公演 ・9月7日（土）レ・フレール ピアノ連弾コンサート Boogie Back to ZUSHI ・12月7日（土）LISA ONO 35th Anniversary 小野リサ with フェビアン・レザ・パネ Duo Delights 2024 ・2月1日（土）日野皓正“トランペット四重奏”with 原朋直、中村恵介、佐瀬悠輔 ・2月8日（土）デビュー25周年記念 吉田兄弟 -極生- ・2月22日（土）さざなみ亭落語会 三遊亭ごはんつぶ・鈴々舎美馬 二人会 前 鑑賞型事業を8件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係5件、古典芸能2件、演劇1件。平均満足度は85.1%。 ● 図書館連携事業「わんぱくおはなし会」「おひざにだっここの会」 <ul style="list-style-type: none"> 11月21日（木）4～6歳の子ども対象の「わんぱくおはなし会」、12月7日（土）2～3歳の子ども対象の「おひざにだっここの会」にて、おとのための手作り絵本講座参加者の完成作品を読み聞かせした。 前 11月16日（木）開催。2～3歳の子どもと保護者対象の「おひざにだっここのおはなし会」と、4～6歳の子ども対象の「わんぱくおはなし会」実施。
② 体験や参加、参画機会の充実	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者、障がい者などによる文化芸術活動を推進します。 ○ ホールにおいて、鑑賞型事業の実施に合わせ、そのテーマに沿った各種講座やワークショップを実施します。 ○ 市内公共施設などにおいて、各種講座事業を実施します。
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子市市制70周年記念事業 0歳からのコンサート 逗子にひびけ♪ 東京楽竹団 わくわくコンサート 逗子市市制70周年記念事業～竹で楽器が作れちゃう！？～ みんなで竹楽器“バリンビン”を作ろう！ 8月3日開催の「東京楽竹団わくわくコンサート」に付随したワークショップとして、前日に竹楽器「バリンビン」を作るワークショップを開催し、小学生24名、大人2名、合計26名の参加があった。コンサートでは、ワークショップの参加者が演者とともに竹楽器を演奏した。観客が竹楽器の演奏に合わせてリズムをとったり歌ったりする場面もあり、こどもから大人まで和やかに楽しめる企画となった。 ● ファミリーミュージカル劇団トマト座「オズの魔法使い」 ファミリー向け公演として、0歳から入場できる「ファミリーミュージカル 劇団トマト座 オズの魔法使い」を開催。多くの親子連れの親子が来場した（チケット完売）。 ● みんなでアート2024 衣装づくりワークショップ 後述する「みんなでアート2024」の「I am I dance Project」で着用する衣装作りワークショップをギャラリーにて実施。参加者は『春夏秋冬』のテーマに合わせ、季節に合った、色や素材で思い思いの衣装を制作し、互いに見せ合うなどしながら楽しそうに衣装作りに励んだ。 <p>【逗子アートフェスティバル2024】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ((1) ③一部再掲) 自由企画の公募を行い、8企画が参加。 前 自由企画10企画参加。 ● 市民交流センターや小坪大谷戸会館で、作品の一部を制作する参加型ワークショップを開催。

	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各種講座の実施 ((1) (2)参照)。
	<p>③ 文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ</p>
目標	<p>○ 自主文化事業の内容に合わせて対象や方法を工夫しながら、PR活動を行います。</p> <p>○ 自主文化事業の実施場所をホールに限定せず、積極的にアウトリーチ事業として実施することにより、ホールに来館できない方へも文化・芸術を広めていきます。</p>
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みんなでアート 2024 (共催 Bowline プロジェクト) <p>障がいのあるなしや年齢等の垣根なく交じり合う「みんなでアート 2024」を開催した。昼の部は、朗読や合唱、ファンションショーなどさまざまな内容から構成されたプログラムを実施。ファンションショーでは事前の衣装づくりワークショップの作品を披露。夜の部のインクルーシブパーティーは、漫才やマジックショー、ダンスなどが展開。障がいのある人もない人も、子どもも大人も混ざり合う、文化プラザらしいインクルーシブな催事となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (再掲) 逗子市市制 70 周年記念事業 0歳からのコンサート 逗子にひびけ♪ 東京楽竹団 わくわくコンサート <p>0歳から入場できるファミリー公演。前日にワークショップなども企画し、多くのこどもが来場する公演となった。観客が竹楽器の演奏に合わせてリズムをとったり歌ったりする場面もあり、こどもから大人まで和やかに楽しめる企画となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (再掲) 「ファミリーミュージカル劇団トマト座「オズの魔法使い」 <p>ファミリー向け公演として、0歳から入場できる「ファミリーミュージカル 劇団トマト座 オズの魔法使い」を開催。多くの親子連れの親子が来場した(チケット完売)。</p>

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	<p>【自己評価】</p> <p>0才からのコンサート「逗子にひびけ♪ 東京楽竹団 わくわくコンサート」の前日に竹楽器「バリンビン」を作るワークショップを開催し、コンサート当日は、ワークショップの参加者が演者とともに竹楽器を演奏した。観客が竹楽器の演奏に合わせてリズムをとったり歌ったりする場面もあり、鑑賞するだけでなく子どもも大人も直接参加できる公演を開催することができた。</p> <p>障がいの有無や年齢等の垣根無く交じり合う「みんなでアート」等、文化芸術に触れる機会の少ない人々も参加できるような企画を開催することができた。</p>
	<p>【見直すべき点】</p> <p>文化芸術に触れる機会の少ない人々（高齢者、障がい者、子ども、子育て層等）へ向けて、更なる企画の充実と鑑賞機会の拡充が求められる。</p>

総合計画における位置づけと目標	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 具体的施策に「文化芸術活動の推進（継承と創出）」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。」としている。また、次の3つを主な取り組みとして位置付けている。
	<ul style="list-style-type: none"> 主な取り組み① 逗子アートフェスティバルの充実 主な取り組み② 文化芸術活動の振興に係る事業の推進 主な取り組み③ 子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進 (アウトリーチ活動等)

委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>鑑賞機会の充実では、平均満足度は9割を超える。また幼児対象の図書館連携事業も継続して実施されており、充実している。</p> <p>逗子市市制70周年記念事業として、鑑賞機会の拡充や体験型プログラムの充実に注力されたことの意義は大きい。「0歳からのコンサート」やファミリーミュージカル劇団トマト座の公演等、充実した内容であった。特に「0歳からのコンサート」では、前日に竹楽器づくりのワークショップが行われ、当日それを使って演奏にも参加するなど、参加の幅も広がった。</p> <p>障がいの有無や年齢等の垣根なく誰もが等しく交じり合う「みんなでアート」には福祉の域を越えた文化芸術の可能性が期待される。高齢者、障がい者、子ども、子育て層等へ向けての文化芸術に参加する機会を提供する姿勢を評価したい。</p>
--------	---

施策の柱	(4) 文化資源の活用による地域づくり
	市内に存在する様々な歴史的資産や伝統文化、青い海や緑豊かな自然環境といった環境、逗子ゆかりの作家や芸術家、各分野の専門性や学識経験を持った市民をはじめとする全ての市民を逗子の文化資源と捉え、逗子の持つ文化の力を發揮して、個性と活力ある地域づくりを進めていく。

個別計画での基本施策と令和6年度の事業概要	
① 逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内に残る伝統文化などの継承を支援します。 ○ 繼承すべき文化の中から、どのように継承するかなど、協働により検証していきます。 ○ 地域の文化資源の情報について、収集と整理の方法を検討します。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、市主催による限定公開を計1回実施した。(緑政課) ● 長柄桜山古墳群第一号墳の整備に合わせ、旧脇村邸、旧郷土資料館等を含む蘆花記念公園全体の再整備のためのグランドデザインを策定した。(まちづくり景観課、緑政課) <ul style="list-style-type: none"> 前・旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、NPO団体主催による湘南邸園文化祭企画として限定公開を実施した。(緑政課) ● 神武寺の木造十一面觀音菩薩坐像を市の重要文化財に指定した。(社会教育課) <ul style="list-style-type: none"> 前・延命寺の仏涅槃図を市の重要文化財に指定した。(社会教育課)
② 豊かな自然環境の活用	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 逗子の自然環境についての学習・保全・啓発につながる文化活動を推進します。 ○ 様々な映像作品のロケ地として利用される逗子を、より一層発信していくため、フィルムコミッション事業やロケ地観光などを促進していきます。 ○ 自然環境を活かした文化活動を推進します。
実施内容	<p>【自然の回廊プロジェクト推進事業（経済観光課）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市の形をした大型マップ「自然の回廊 イルカマップ」を市体験学習施設で展示した。 ● 観光協会と協働し、歴史的観点から見た自然の回廊ハイキングイベント（「逗子の歴史めぐり～逗子の史跡をめぐりながら、野鳥の観察も楽しめます～」）を実施し、新たな側面としての魅力を発信した。 <p>【逗子フィルムコミッション（経済観光課）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影問合せ件数171件、市内での撮影件数70件。エキストラ登録人数（R6時点）158人。卒業論文対応0件。ロケツーリズムに対するアンケート0件。 <ul style="list-style-type: none"> 前撮影問合せ件数216件、市内での撮影件数87件。エキストラ登録人数157人。卒業論文対応1件。
③ 人的資源の発掘と連携	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に根ざした様々な分野のアーティストや専門家を発掘します。 ○ 様々な人的資源をつなぐネットワークづくりを進めます。 ○ 本市の実情に応じて部活動の地域移行について検討します。
実施内容	<p>【((2)②再掲) 逗子アートフェスティバル2024開催を目的とした逗子アートネットワークの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2024の企画運営を行った逗子アートネットワークは、コアメンバーを中心 최근参加のメンバーとともにミーティングを頻繁に行い活動の幅を広げた。Facebook メンバーページ113人参加。 <ul style="list-style-type: none"> 前Facebook メンバーページ92人参加。 ● オンラインミーティングを活用し、逗子アートネットワーク全体でのミーティングや、その他にZAN共同代表によるミーティング、各企画者・広報担当者によるミーティング等を行った。 ● 逗子アートネットワークの広報チームは、SNSやWebでの広報活動を積極的に行い、まちや人の魅力を市内外に広く発信することで、逗子アートフェスティバルをきっかけに来訪者を増やすことを目標とした。 <p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2024 ホール共催事業（共催 Bowlineプロジェクト）として「みんなでアート2024」を開催した。 10月19日にさざなみホールにて、”障がいがあっても高齢でも大人でも子どもでも、自然に混ざり合い一緒に楽しむイベント「みんなでアート2024」を開催。昼の部は、朗読や合唱、ファッションショーなどさ

さまざまな内容から構成されたプログラムを実施。10月22日は、さざなみホールにて「映画上映（ゆうやけ子どもクラブ！）」、「lutaku氏によるピアノコンサート」、「Tipoo氏によるVRライブパフォーマンスとVRお絵描き体験」の催物を開催した。夜の部のインクルーシブパーティーは、漫才やマジックショー、ダンスなどが展開された。

10月27日にさざなみホールにて、ラップで想いを言語化し、様々なバックボーンの垣根を超え、お互いの理解を深めていく公演「ラップでココロカルク From Zushi」を共催事業として開催（共催 ラップでココロカルク実行委員会）。

全ての催物において、障がいのある方、ない方、子どもから大人まで、誰もが混ざり合い楽しめている姿が印象的だった。今後も引き続き、今回のようなイベントを通して、障がいや病気の有無、年齢や性別に関係なく、混ざり合い、一緒に楽しむことができる催物、環境づくりの一助を目指していく。

前ホール共催事業を全1企画開催した。

- 「第17回 なぎさプラスゾリストン 逗子コンサート」（共催 なぎさプラスゾリストンサポーター俱楽部）

逗子文化プラザホール開館を機に結成された「なぎさプラスゾリストン」の第17回逗子コンサートを共催事業として開催した。開場前から多くの方が来館され、このコンサートの開催を待ち遠しく思っていた方が多いことが伺える公演となった。

- 逗子市市制70周年記念事業なぎさ String Quartet】

逗子市出身のヴァイオリニスト土屋杏子氏をはじめ、近隣出身のメンバーを中心に逗子市市制70周年記念事業として弦楽四重奏コンサートを開催した。曲間には逗子の話を中心に高校時代の話など地元愛にあふれた話があったり、親しみやすい曲で構成されたプログラムで観客との一体感を醸成する公演となつた。

- 逗子市市制70周年記念事業山田姉妹ソプラノデュオコンサート～花ひらく明るき逗子よ～」

市内出身で逗子市広報大使でもある、ソプラノデュオの山田姉妹による「山田姉妹ソプラノデュオコンサート」を開催。市民や近隣市町村だけでなく、他県からの山田姉妹ファンも多く来場された。また、来場者の年齢の幅広さから、クラシックから童謡まで様々なジャンルを歌いこなす山田姉妹の支持の高さを改めて感じさせられる公演となつた。

また、市制70周年を記念し、山田姉妹の歌唱による逗子市歌を新たに録音し、市ホームページに掲載するなど周知に努めた。

前「山田姉妹ソプラノデュオコンサート～ふたりで紡ぐ、やすらぎのハーモニー～」開催

- 絵本作家 山本祐司さんと一緒に絵本をつくろう2024 こどものための手作り絵本講座

逗子市在住の絵本作家による手作り絵本講座を実施した。

- 逗子開成高等学校和太鼓部と共に演による和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演 Vol. 6

逗子開成高等学校和太鼓部と共に演した。共演に向けて和太鼓グループ彩 -sai- による事前指導を6回実施し、プロの技術や演奏を直接学べる場を設けた。

自己評価と見直すべき点

a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。

【自己評価】

長柄桜山古墳群第一号墳の整備に合わせ、旧脇村邸、旧郷土資料館等を含む蘆花記念公園全体の再整備のためのグランドデザインを策定した。

市指定文化財の数は、基本計画における2029年度（令和11年度）までの重要業績評価指標（KPI）である「市指定文化財の数が24件に増加している。」に対し、23件であり、順調に進捗している。

自然の回廊プロジェクトは、2029年度（令和11年度）までの重要業績評価指標（KPI）である「自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。」に対し、支援回数1件であり、2029年度に向け引き続き回数増加に努める。

地域で活躍、ゆかりのあるアーティストであるソプラノデュオ山田姉妹やヴァイオリニスト土屋杏子氏等、市内出身のメンバーを中心に市制70周年記念事業を開催した。

逗子市在住の絵本作家の山本祐司氏による「手作り絵本教室」や、和太鼓グループ彩 -sai- と逗子開成高等学校和太鼓部との共演・指導など、地域に根差したアーティスト

	<p>たちとの多様な連携を図ることができた。</p> <hr/> <p>【見直すべき点】</p> <p>地域に根差したアーティストの公演は、参加型企画も含めより多くの集客に結びつけられるよう検討する。</p>
--	---

総合計画における位置づけと目標	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 具体的施策に「文化財保護の推進」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「市指定文化財の数が24件に増加している。」としている。また、次の3つを主な取り組みとして位置付けている。 <ul style="list-style-type: none"> 主な取り組み① 文化財の展示活用の推進 主な取り組み② 史跡の公開活用 主な取り組み③ 未指定文化財の調査 (文化財の新規指定及び積極的な公開活用) ● 具体的施策に「自然の回廊の保全と活用」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。」としている。また、次の2つを主な取り組みとして位置付けている。 <ul style="list-style-type: none"> 主な取り組み① 自然の回廊プロジェクト事業の推進 主な取り組み② みどりに親しむ環境づくりの推進
委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>文化資源の活用という面では、昨年から検討を始めた旧脇村邸、旧郷土資料館等を含む蘆花記念公園全体の再整備のためのグランドデザインが策定され、進展している。また、市指定文化財の数も、神武寺の木造十一面観音菩薩坐像が指定され、23件となった。関係する課との連携や市内の文化団体やNPO等との協働・連携が着実に図られ、今後の展開が期待される。</p> <p>人的資源の発掘と連携では、開館時に結成された「なぎさゾリストン」の第17回目のコンサートが開催され、また市制70周年記念事業として、市と関わりの深いメンバーによる「なぎさ String Quartet」も結成され、さらには市出身で市の広報大使でもあるソプラノデュオの山田姉妹による記念コンサートも開催された。</p> <p>その他、絵本作家山本祐司の絵本講座、また逗子開成高校和太鼓部との連携など、地域の人的資源の活用や事業間の連携が推進されている。</p>

施策の柱	(5) 文化情報の収集・発信・活用
	情報による文化の活性化を目指し、市民だれでもが容易に市内・市外の文化情報を手に入れるができるような情報流通の仕組みを構築し、新しい情報メディアへの対応を図る。また、逗子の文化資源に関する情報として、文字情報だけでなく映像や音源などを集積して、活用できる仕組みを検討する。

個別計画での基本施策と令和6年度の事業概要	
① 情報の収集	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の文化情報や市内の文化活動の情報などを手軽に取得できるよう情報の収集に努めます。 ○ 他市の文化施設での催しなどの情報をホール及び市民交流センターでも手軽に取得できるよう情報の収集に努めます。
実施内容	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホール&ギャラリーニュース 年間4回、各10万部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町（横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部）へは、新聞折込により配布。また、サポート会26ヶ所、近隣他館115館等に持参や郵送で配架を依頼。 前年間4回、各10万2千部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町（横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部）へは、新聞折込により配布。また、サポート会26ヶ所、他館111館等に持参や郵送で配架を依頼。 ● イベントカレンダー 施設ご利用者様のホール・ギャラリー催物情報を集約し、月ごとに発行するイベントカレンダーを毎月発行し、市内公共施設を中心に配架している。ホール&ギャラリーニュースを近隣他館115施設に配布する際には同時配布し、近隣施設への情報周知も行っている。 ● ホールSNS (Facebook、X、Instagram) 情報発信 ショートムービーを活用した他のSNSとの連携として、公演出演者のコメントやインタビュー動画のYouTube投稿を行い他SNSとの連携発信を行った。 ● 舞台芸術メディアや専門メディアでの情報発信 情報掲載用アプリ（チラシクラシック）や、情報サイト（ぶらあぼonline）、親子向け情報サイト（いこーよ）に公演情報やチラシを掲載したほか、昨年に引き続き落語専門チャンネル（日本で唯一の寄席演芸専門情報誌「東京かわら版」、落語系情報サイト「嘶-HANASHI」、「落語会情報」）へ掲載し、情報発信を強化した。 ● 市外全域を対象にしたパブリシティでの情報発信 読売新聞・朝日新聞など全国紙、神奈川新聞・鎌倉朝日など地方紙、タウンニュース、タウンwebなどローカルメディア、湘南ビーチFM（ラジオ局）を通して市外全域を対象にしたメディアパブリシティを行った。 ● その他、市内各種媒体での情報発信 広報ずし、子育てわくわくメールマガジン、ナニスル、マグカルカレンダー（県情報誌）、イベントバンク（情報配信サイト）、逗子・葉山WEB、mamamoana等で、自主文化事業の情報発信を行った。新しいローカルメディア1媒体（aicco）を発掘し、日々情報発信に努めている。 また、市役所のホール用ラック、市内掲示板、PR-BOX、交流センターラックを活用して情報発信した。 ● 近隣他館との連携 JCD他指定管理施設で「ホールで強化したいマルチペイメント収受の運営ノウハウ交流研修」、「市民協働型大型催事のワークショップ・展示・公演制作交流研修」を実施。また、公立文化施設協会のオンラインサロンに参加し、「公立文化施設で顔の見える職員の横のつながりをつくる」活動に参画した。 ● ホールキャンバス ホールエントランスのガラス面を使った瓦版として展開し、ホールに関する情報発信を継続した。 ● ホールホームページ 貸館利用者の催事をHPに即時公開する向上を実施。掲載依頼を受け付けてから概ね2日内には掲載した。

② 地域文化情報の発信	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々なメディアに積極的に情報発信を行います。 ○ 新しいメディア（SNS、動画配信サービスなど）を活用した情報提供を検討します。
実施内容	<p>【情報のネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共育ポータルサイト「ナニスル」を引き続き運用。令和7年3月31日現在参加団体数390件。 （市民協働課） 前令和6年3月31日現在参加団体数424件 ● 世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数は、令和7年3月31日現在9,578人。（市民協働課） 前令和6年3月31日現在5,354人。 ● 市制70周年記念事業の市民企画「『あなたと私の逗子の文学』展」を契機として、市民団体が編集する「逗子ゆかりの文学年表」のウェブサイトのリンクを市ウェブサイトに掲載することで地域の文化情報の発信を行った。（文化スポーツ課） <p>【（一部（1）②再掲）市民による文化事業への後援、協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共催・協力・後援に伴い、市内広報板へのチラシ掲出を行い、事業の周知を図った。 共催1件、協力2件、後援40件 合計43件 前共催1件、協力2件、後援33件 合計36件
③ 情報の活用（ネットワークづくり）	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内の文化団体や文化活動について、相互に情報交換できる仕組みを検討します。 ○ 文化資源情報を整理し、将来的にはデジタル化により、市民が活用しやすい環境づくりにつなげます。
実施内容	<p>【逗子フォト事業（企画課）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市ホームページでの写真公開枚数は、令和7年4月9日現在1,623枚。令和6年度は、市制70周年記念事業「逗子の『まちの記憶』アーカイブ」で市民から応募された写真などを公開した。 前令和6年4月10日現在1,555枚。

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	【自己評価】 ホールの貸館利用者のホームページ催事掲載依頼を受け付けてから概ね2日内には掲載し、情報を速く届けられるようにした。 世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数は、総合計画における2029年度（令和11年度）までの重要業績評価指標（KPI）「世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数が5,000人を超えていた。」に対し、9,578人と順調であり、コロナ禍前の数字に迫る参加者数となった（参考 2019.3 9,662人）。
	【見直すべき点】 さらなるSNSの活用と、年齢層に合わせた情報発信を検討していく。

総合計画における位置づけと目標	【総合計画実施計画】
	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的施策に「生涯を通じた学習活動の支援」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「市内で活動する生涯学習団体の総数が400を超えていた。」としている。また、次の3つを主な取り組みとして位置付けている。 <ul style="list-style-type: none"> 主な取り組み① 生涯学習活動の情報の提供 (ライフステージや学習要求に応じた学習機会の提供) 主な取り組み② 生涯学習活動の場の提供 主な取り組み③ 図書資料の充実 ● 具体的施策に「地域で子どもと大人が共に育つ学習環境の整備」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数が5,000人

	<p>を超えている。」としている。また、次の2つを主な取り組みとして位置付けている。</p> <p>主な取り組み① 共育活動の推進 主な取り組み② 共育のイベントの開催</p>
--	--

委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>充実した豊かな暮らしを望む市民のため、さまざまな媒体を駆使した情報発信に注力されている。</p> <p>ホールでは、市内向けだけに留まらず、SNS や新聞など多様なメディアを通してのパブリシティ活動を積極的に行うなど、市内外への情報発信に努めている。また、令和6年度には貸し館利用者の催事を依頼を受けて概ね2日以内に掲載し、素早く情報伝達できるようにした。</p> <p>市制70周年を機に実施された「逗子の『まちの記憶』アーカイブ」で市民から応募された写真を、また市民団体の編集による「逗子ゆかりの文学年表」を市のホームページ上で公開したことは、「逗子アーカイブの構築」を前進させるものとして評価できる。新たな形の「逗子アーカイブ」に向けて更に工夫・検討していっていただきたい。</p> <p>世代間交流を促す講座やイベントへの参加者数も、コロナ禍前の水準に迫るまで回復している。</p>
--------	---

施策の柱	(6) 文化振興のための環境づくり
近隣市町などとの連携を視野に入れ、行政における推進体制の整備を行うとともに、ホールをはじめとする既存の施設の維持管理に努め、市民による自主的かつ主体的な文化活動が行える環境づくりを目指す。	
個別計画での基本施策と令和6年度の事業概要	
① 行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備	
目標	<input type="radio"/> 文化振興所管課を中心として、関係部署との協力・連携を強化します。 <input type="radio"/> 文化を軸とした、行政の一体的、組織横断的な推進体制の確立を目指します。
実施内容	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定管理者に対するモニタリングを毎月実施。（文化スポーツ課） <p>【((4) ①再掲) その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、市主催による限定公開を計1回実施した。（緑政課） ● 長柄桜山古墳群第一号墳の整備に合わせ、旧脇村邸、旧郷土資料館等を含む蘆花記念公園全体の再整備のためのグランドデザインを策定した。（まちづくり景観課、緑政課） <ul style="list-style-type: none"> 前・旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、NPO団体主催による湘南邸園文化祭企画として限定公開を実施した。（緑政課） ● 神武寺の木造十一面觀音菩薩坐像を市の重要文化財に指定した。（社会教育課） <ul style="list-style-type: none"> 前・延命寺の仏涅槃図を市の重要文化財に指定した。（社会教育課）
② 施設・設備の充実等	
目標	<input type="radio"/> ホールの管理運営について、多くの市民の意見を取り入れながら改善を図ります。 <input type="radio"/> バリアフリー やユニバーサルデザインなど、誰もが利用しやすい環境づくりのため、施設や設備の計画的な修繕・改修に努めます。 <input type="radio"/> まちなかに点在する空きスペースや市の施設などの情報収集・発信に努めます。
実施内容	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホールの維持管理にかかる工事 15 件、委託 1 件、物品購入 1 件を実施。（文化スポーツ課） <ul style="list-style-type: none"> (加圧給水ポンプユニット交換工事、自動制御機器更新工事、自動火災報知設備更新工事、冷却塔分解整備工事、なぎさ・さざなみホール音響システム制御用リレー・スピーカー部品交換工事、なぎさ・さざなみホールマグネットスイッチ更新工事、なぎさ・さざなみホール照明調整卓更新工事、なぎさ・さざなみホール録音再生機器交換工事、なぎさ・さざなみホールホールインターラム設備更新工事、エントランス等改修工事、洋式トイレ温水洗浄便座取付工事、給湯用膨張タンク交換工事、図書館屋上防水補修工事、屋上防水補修工事、図書館防火シャッター改修工事、吸収冷温水機系統整備委託、移動型パワードスピーカー購入) ● 工事等（委託・物品購入含む）17 件の実施にあたっては、ホール指定管理者として、事前の工事調整、現地調査立会、仕様書・発注書作成支援、工程書確認、確認技術支援、当日立会、竣工検査立会など、市・施工業者と綿密に打ち合わせを重ね、工事完了まで支援を実施した。また、強風により屋上の防水シート剥がれが発生した際も、迅速に市に報告、施工業者手配を行い、補正予算による市への依頼を実施した。 ● 竣工 20 年目となる令和 7 年度に予定される全 7 件の改修工事等に向けて中長期修繕計画の立案を市と協議進行した。予防管理・危機管理に重点を置き、不具合発生時の運営・利用者への影響を考慮し、メーカー・施工業者調整、優先順位検討を行い、修繕計画支援を行った。 ● 領収書のインボイス対応や新紙幣導入に伴う精算機改修等、サービス向上にむけた修繕や、交流センターの受水槽破損や、屋上防水シート剥がれ、空調機漏水等、経年による設備不具合も頻発したが、メーカー・委託業者との調整、利用者への催事影響最小化、逗子文化プラザ一体となった施設間調整を行い、環境維持を行った。また、停電発生後の対応を鑑みて、逗子文化プラザ全体での停電訓練を実施し、今後の有事に備えた。 ● 光熱水費単価上昇もあったが、政府による激変緩和措置値引等があり、光熱水費の余剰が見込まれたため、余剰想定分をロビーにベンチ設置等、サービス向上を念頭に置いた市民還元を行った。
③ 近隣市町との交流・連携	
目標	<input type="radio"/> 文化プラザが地域の文化活動、創造的活動の拠点となり、他の近隣市町との交流・連携を進めます。

実施内容	<p>【((4) ③再掲) ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 逗子アートフェスティバル 2024 ホール共催事業を全1企画開催した。 前ホール共催事業を全1企画開催した。 プラザ施設間連携の取り組み 交流センターを含めた維持管理の「一体管理 MTG」を創設。逗子市内全小学校が交流センタープールを利用することに伴うフェスティバルパークへのバス乗り入れ対応協力を継続。また、空きスペースの有効活用として、逗子市警察署による子どもたちを対象にした自転車シミュレーターをギャラリー前にて実施。小学校合築のプラザらしい協力取組みとなった。 11月5日に逗子文化プラザ4施設にて、停電訓練を実施。発生後の連絡手段が口頭であることや、長時間にわたる停電の際の運営続行判断等、課題や検討事項も意見としてあがったため、今後も利用者・生徒・市民の安全を第一とした訓練を実施し、各施設間で共通認識を持ち有事に備える。 2月4日消火訓練・避難訓練では、ホール図書館棟だけでなく、市民交流センターとの共同開催とし、訓練終了後に消防署員による水消火器を使用した実践練習及びVRを使用した消火体験、脱出シーダーの使用した避難体験と、多岐にわたる訓練を共同で実施した。
------	---

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】 ホールについては、所管課で毎月モニタリングを実施し、運営状況の把握と改善に向けた指導を行っている。 文化プラザは、竣工後19年が経ち躯体・設備に不具合が発生する頻度が高まっており、安全面、コスト面等により優先順位を付け修繕計画を進めている。</p> <p>【見直すべき点】 文化振興所管課を中心とした関係部署との協力・連携については、各部署の事業の情報共有に留まっている。近隣市町との連携については、具体的な取り組みを検討する必要がある。</p>
-------------	--

総合計画における位置づけと目標	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な施策に「文化芸術活動の推進（継承と創出）」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。」としている。また、次の3つを主な取り組みとして位置付けている。 <ul style="list-style-type: none"> 主な取り組み① 逗子アートフェスティバルの充実 主な取り組み② 文化芸術活動の振興に係る事業の推進 主な取り組み③ 子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等）
-----------------	--

委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>指定管理業務に対するモニタリングを毎月実施し、指定管理者とホールの運営状況や課題を共有し、解決に向け協議していることは評価できる。文化プラザは、竣工後19年が経ち、躯体・設備に問題が発生する頻度も増えるだろうことから、安全に向けての修繕計画はもとより、安心に向けての人的な面での対応策も求められる。そうしたなかで、交流センターを含めた維持管理の「一体管理 MTG」を立ち上げた点は評価できる。今後も利用者の意見を取り入れながら、誰もが安全に利用できる施設環境を形成し、地域の文化活動、創造的活動の拠点となるよう努めてほしい。その際、文化振興所管課を中心とした府内の関係部署との連携や、近隣市町との協力・連携、市民や文化団体との連携がますます重要性を持つてくると考えられる。</p>
--------	--

参考資料

1. 逗子文化プラザホール 令和6年度自主文化事業

令和6年度3月 自主文化事業実施報告									
事業名	開催形式	実施日時	発売月日	会場	対象／定員	チケット料金	入場者数(入場率)	券売達成率	備考 【チケット販売枚数(当月末時点) または申し込み人数】
【共催】第4回駅前寄席 in 逗子文化プラザホール	共催	6月5日(水)	4月24日(水)	なぎさホール	逗子市在住65歳以上／500名	無料	332名(66.4%)	-	最終配布数：242枚 (ホール委託300枚)
逗子落語会 三遊亭わん丈 真打昇進披露公演	主催	7月6日(土) 18:00開演	4月5日(金)	なぎさホール	551名	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	357名(64.8%)	118.2%	招待2名含む 最終券売数：362枚 *未就学児入場不可
【共催】第17回なぎさプラスソリステンコンサート	共催	7月10日(水) 19:00開演	4月22日(月)	なぎさホール	551名	全席指定 一般 4,500円 高校生 2,500円 小中学生 1,000円	504名(91.5%)	算出難	招待109名含む 最終券売数：112枚 (ホール委託120枚) *未就学児入場不可
絵本作家 山本祐司さんと 一緒に絵本をつくろう2024 子どものための手作り絵本講座 おとなとのための手作り絵本講座	主催	こども： 7月20日(土) 22(月) 24日(水) 8月7日(水) おとな： 9月28日(土) 10月6日(日) 10月26日(土)	こども： 5月18日(土) おとな： 6月22日(土)	さざなみホール	小学生／70名 おとな／35名	参加費 こども：2,500円 おとな：2,500円	こども 70名(100%) おとな 36名(102%)	106.0%	最終申込： こども：70名 おとな：36名 *先着順
手作り絵本講座 展示 (図書館との連携)	主催	こども： 8月22日(木)～25日(日) おとな： 11月21日(木)～24日(日)	-	ギャラリー	-	入場無料	こども： 209名 おとな： 196名	-	こども：作品30点 おとな：作品19点
逗子市市政70周年記念事業 ～竹で楽器が作れちゃう！？～ みんなで竹楽器“バリンピン”を作ろう！	主催	8月2日(金) 13:30開始	4月20日(土)	なぎさホール ホワイエ	小学生／30名	参加費 1,200円	26名(87%)	104.0%	最終申込：26名 (おとな2名含む) *小学3年生までは保護者同伴 *8/3のコンサートに参加できる方
逗子市市制70周年記念事業 0歳からのコンサート 逗子にひびけ♪ 東京楽竹団 わくわくコンサート	主催	8月3日(土) 14:00開演	4月20日(土)	なぎさホール	551名	全席指定 おとな 前売1,800円 (当日2,000円) こども 前売500円 (当日800円)	165名(30%)	41.8%	招待20名含む 最終券売数：165枚 *3歳未満は保護者1名につき、お子様1名までひざ上無料
ホールのお仕事をやってみよう♪ こどもレセ体験	主催	8月3日(土)	6月22日(土)	-	8名	参加無料	4名(50%)	40.0%	最終申込：4名
逗子こども落語教室2024	主催	8月22日(木) 14:00開講	5月25日(土)	さざなみホール	逗子在住、在学の 小中学生 20名	参加費 1,000円	17名(85%)	100.0%	最終申込：20名 *先着20名
レ・フレール ピアノ連弾コンサート Boogie Back to ZUSHI	主催	9月7日(土) 15:00開演	5月10日(金)	なぎさホール	551名	全席指定 一般 4,500円 高校生以下 2,500円	493名(89%)	138.8%	FC先行販売50枚を含む 最終券売数：544枚 *3歳未満は保護者1名につき、お子様1名までひざ上無料
逗子市市制70周年記念事業 なぎさString Quartet	主催	9月16日(日) 14:00開演	5月10日(金)	なぎさホール	120名	全席指定 一般 1,500円 高校生以下 1,000円	125名(104%)	125.6%	招待12名含む 最終券販数：113枚 *未就学児入場不可
アート便2024	主催	9月	-	市内各学校他	-	-	①68名 ②120名 ③125名 ④108名 ⑤116名 ⑥106名 ⑦107名 ⑧104名 ⑨194名 ⑩75名 ⑪129名 ⑫54名 ⑬166名	-	クラシック音楽(土屋杏子) ①11月7日(木)小坪小学校 ②12月16日(月)聖マリア幼稚園 落語(三遊亭わん丈) ③11月12日(火)逗子小学校 ④11月13日(水)池子小学校 ⑤11月13日(水)久木小学校 ⑥11月18日(月)沼間小学校 ⑦1月21日(火)逗子中学校 ⑧2月25日(火)逗子中学校 ⑨2月25日(火)久木中学校 太鼓樂(扇家勝丸) ⑩11月27日(水)沼間中学校 和太鼓(和太鼓グループ-sai-) ⑪11月29日(金)体験学習施設スマイル ⑫12月23日(月)逗子市高齢者センター ⑬3月14日(金)久木中学校
【共催】みんなでアート	共催	10月19日(土)	-	さざなみホール/ ギャラリー	-	入場無料	300名	-	逗子アートフェスティバル2024企画 *ソーイングワークショップ7/6開催

令和6年度3月 自主文化事業実施報告									
事業名	開催形式	実施日時	発売月日	会場	対象／定員	チケット料金	入場者数(入場率)	券売達成率	備考 【チケット販売枚数(当月末時点)】 または申し込み人数
【共催】ラップでココロカルク	共催	10月27日(日)	9月19日(木)	さざなみホール	-	ワークショップ (LIVE入場料込)大人2,500円 ワークショップ (LIVE入場料込) 高校生以下1,000円 ライブ入場料 大人1,500円	130名	-	逗子アートフェスティバル2024企画 最終券売数 ・ WS+LIVE 大人18名 ・ WS+LIVE 高校生以下12名 ・ LIVE 大人56名 * ライブ入場料 高校生以下は無料
交流センターフェア2024 逗子市市制70周年記念事業 コントラバスヒーローショー 逗子文化プラザホールを救え！	主催	11月4日(月) ①13:00開演 ②15:00開演	8月24日(土)	さざなみホール	100名	全席自由 中学生以上 500円 小学生以下無料	①93名 (93.0%) ②90名 (90.0%)	①134.6% ②133.3%	招待1名含む 最終券売数： ①101枚 ②100枚 *0歳から入場可
【共催】逗子次世代育成プロジェクトVol.5 大地震に備えよう！防災と生き方を考える日 防災講演会 浪江町の復興に関する資料展示 MY防災計画をつくろうコーナー	共催	11月16日(土)	9月10日(火)	なぎさホール ／さざなみホール ／ギャラリー	-	全席指定 2,000円 手数料10% (ホール販売分)	①83名 ②114名 ③52名	-	最終参加者： ①防災講演会 ②展示ブース ③実践ブース
【共催】逗子次世代育成プロジェクトVol.5 大地震に備えよう！防災と生き方を考える日 和楽器コンサート	共催	11月16日(土)	9月10日(火)	なぎさホール	555名	全席指定 2,000円 手数料10% (ホール販売分)	45名 (8.1%)	45.0%	最終券販数：45枚 *4歳以下は保護者1名につき、お子様 1名までひざ上無料
講座「ホール舞台スタッフを体験しよう！」	主催	①11月15日(金) ②11月22日(金)	-	県立逗子葉山高等学校 ／なぎさホール	1年生	-	-	-	24名受講
LISA ONO 35th Anniversary 小野リサ with フェビアン・レザ・バネ Duo Delights 2024	主催	12月7日(土) 15:00開演	8月24日(土)	なぎさホール	525名	全席指定 一般 4,000円 高校生以下 2,500円	524名 (99.8%)	133.8%	最終券売数：531枚 *未就学児入場不可 *チケット完売(9/9)
ファミリーミュージカル劇団トマト座「オズの魔法使い」	主催	12月14日(土) 14:00開演	8月24日(土)	なぎさホール	525名	全席指定 おとな 前売1,800円 (当日2,000円) こども 前売500円 (当日800円) ※3才未満ひざ上無料	449名 (85.5%)	127.3%	最終券倍数：509枚 *3歳未満は保護者1名につき、お子様 1名までひざ上無料
逗子市市制70周年記念事業 和太鼓グループ彩 -sai- 逗子公演Vol.6	主催	1月18日(土) 14:00開演	9月27日(金)	なぎさホール	525名	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	401名 (76.3%)	109.3%	最終券売数：437枚 (和太鼓グループ彩-sai-事務局 販売分含む) *未就学児入場不可
日野皓正“トランペット四重奏” with 原朋直、中村恵介、佐瀬悠輔	主催	10月12日(土)→中止 2月1日(土) 振替公演 16:00開演	10月25日(金)	なぎさホール	523名	全席指定 一般 3,500円 高校生以下 2,000円	517名 (98.8%)	140.6%	最終券売数：533枚 *未就学児入場不可 *チケット完売(1/11) 7/1公演中止。7/11より払戻し対応。 2025年2月1日で振替公演を実施。
デビュー25周年記念 吉田兄弟 一極生一	主催	2月8日(土) 14:00開演	10月4日(金)	なぎさホール	554名	全席指定 一般 4,000円 高校生以下 2,500円	531名 (95.8%)	132.8%	最終券売数：549枚 *未就学児入場不可 *チケット完売(1/8)
さざなみ亭落語会 三遊亭ごんつぶ・鈴々舎美馬 二人会	主催	2月22日(土)	10月4日(金)	さざなみホール	120名	全席自由 一般 2,000円 高校生以下 1,000円	103名 (85.8%)	126.7%	最終券売数：114枚 *未就学児入場不可
逗子市市制70周年記念事業 山田姉妹ソプラノデュオコンサート	主催	3月15日(土)	11月8日(金)	なぎさホール	551名	全席指定 一般 2,500円 高校生以下 1,000円 ※市制70周年特別価格	502名 (91.1%)	131.5%	最終券売数：539枚 *未就学児入場不可
【共催】トモイクフェスティバル2025	共催	3月22日(土) ～23日(日)	-	なぎさホール/ さざなみホール/ ギャラリー	-	-	4006名	-	-
影絵劇「ふしげの国のアリス」	主催	2月18日(土) 14:00開演	11月5日(土)	なぎさホール	502名	全席指定 おとな 前売1,500円 (当日1,800円) こども 前売500円 (当日800円)	435名 (86.7%)		招待14名含む 最終券売数：485枚 *0才からチケット必要
TSUKEMEN CONCERT the BEST ～Road to 15th Anniversary～	主催	3月11日(土) 16:00開演	12月9日(金)	なぎさホール	525名	全席指定 一般 4,500円 高校生以下 2,000円	429名 (81.7%)		招待2名含む 最終券売数：435枚 *未就学児入場不可
【共催】トモイクフェスティバル2023	共催	3月25日(土) 26日(日)	-	なぎさホール さざなみホール ギャラリー	一般	-	1,800名		
【共催】トモイクフェスティバル2023 コドモーション	共催	3月26日(日)	2月16日(木)	さざなみホール	45組	1組 500円	42組 (93.3%)		①17組 ②16組 ③9組 *1日3回、各回15組

2. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、逗子市文化振興条例（平成21年逗子市条例第15号）第7条第1項の規定に基づき、逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査及び評価を行い、その結果を教育長に提言する。

- (1) 逗子市文化振興基本計画（以下「基本計画」という。）における施策に関する適切な実施に関すること。

- (2) その他基本計画に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 公募による市民
- (2) 学識経験を有する者
- (3) その他教育長が特に必要があると認める者

2 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、専門的事項について学識を有する者、市職員その他の者に対し、その出席を求めて意見又は説明を聞くことができるほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、文化スポーツ課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(招集の特例)

2 委員会の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

3. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会 委員名簿

役職	委員氏名	団体名、所属等
	奥野 花代子	公募市民
	伊藤 裕夫	学識経験者（日本文化政策学会顧問）
	富岡 幸一郎	学識経験者（関東学院大学教授）
	山崎 稔恵	学識経験者（関東学院大学名誉教授）

(敬称略)

4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程

第1回

開催日時：令和7年7月24日（木）14時00分～

開催場所：市役所第3会議室

議題 : (1) 令和6年度事業に関する評価の対象、方法について
(2) 令和7年度事業について
(3) その他

第2回

開催日時：令和7年11月27日（木）14時00分～

開催場所：市役所第1議室

議題 : (1) 令和6年度事業に関する評価について
(2) その他

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会
令和6年度事業に関する評価報告書

発 行 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会
発行日 2026年（令和8年）1月
編 集 逗子市市民協働部文化スポーツ課
〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5-2-16
TEL: 046-873-1111 FAX: 046-873-4520
E-mail: bunkasports@city.zushi.lg.jp